

Pichan ~ピチャリ~

七飯町歴史館だより

第49号

nanae historical
museum collection



ななえ古写真物語

VOL. 49

胤松閣

旅館から病院へ

昭和20年代後半か？

中島地区

「胤松閣」といわれて、七飯町のどこにあったかわかる人は少なくなってしまうかもしれませんが、知っている人の中でも、「ああ、あの病院ね」という人と「あそのこの旅館ね」という人に分かれるのではないのでしょうか？。昭和63年、不審火によって建物が全焼してしまったこともあり、跡地は現在荒地になっていますが、かつて七飯町の中島という地域にこの胤松閣と呼ばれる建物が存在していました。

上の写真は、胤松閣が病院として利用されていた時の写真になります。ちょうど病院前に看板が設置され「胤松閣療養所」と呼ばれていたことがわかりますが、別名で大中山結核療養所とも呼ばれていたようです。病院には不似合いの和風な建築ですが、昔にしてみればとても立派な建物だったことがわかります。

七飯町史によるとこの病院は、内山義夫という医師が院長を務め、昭和28年から昭和37年12月まで開院していました。冒頭で既知の人たちが病院か旅館に分かれるといったのは、この病院の前身が、同じく「胤松閣」と呼ばれた割烹旅館だったからで、和風な雰囲気を残しているのも、建物はそのまま使われた為と考えています。

ここで、割烹旅館としての「胤松閣」の歴史を「大中山四百年誌」からひも解いてみますと、当時、函館で運送業を営んでいた宮崎松太郎という人物が、蒜沢地区一帯の土地を買収し、別荘（現在の大和静観園）をつくりました。昭和5年に松太郎が亡くなり、息子の信太郎が、家督相続によって土地を入手した後、現在の中島地区に旅館建設を開始、これが胤松閣で、翌6年には営業を始めたと記されています。また、敷地内には大きな池を配した庭園が設けられるなど贅が凝らされていたようで、外国旅行者や東京・札幌・函館の富豪がよく利用し、毎日函館から仕入れた新鮮な食材をもとに豪華な料理が振舞われ、さらには、送迎用に高級な自動車も配備されるなど、庶民には少し敷居の高い高級料亭だったようです。

また造園には、かつて七重村御薬園で園丁長を務め、七重官園では園芸雇として活躍した吉野鉄太郎の息子の正三が携わっていたのですから、さぞ素晴らしい庭園だったと推測できます。

残念ながら、往時の繁栄振りは写真でしか窺うことが出来ませんが、火事で失われた建物が残っていたら・・・と少し悔やまれる一枚の紹介でした。

24日

夜の博物館・後期講座が開講しました。第1回目は、ななえの碑から、郷土の歴史を考察しました。中には、道路沿いではなく、知っていなければわからないかも...という場所の石碑もあるので、新たに知ってもらえたものもあったのではないのでしょうか。

町内の石碑は当館ホームページでも紹介していますので、ぜひご覧ください。



24日

歴史館友の会・そば打ち名人の皆さんに指導していただきながら、ジュニア探検クラブでそば打ち体験をしました。

作業は時間との勝負！。時間とともに、そば粉がどんどん乾燥して、まとまりにくくなるんです。体重をかけてよくこねた後、薄く伸ばして、専用の包丁で均等に切っていきます。どの班も細さはそろっていて、上手に出来ていました。うどんにならなくてよかった...

午後からは当館常設展示室・民家前でもちつきを。今年は初めてよもぎもちをついたのですが、よもぎの良い香りが広がり、鮮やかな色が新鮮でした！



25日

ふぁみりーでいみゅーじあむでも、もちつきに挑戦しました。子ども達にはきねは重かったようですが、何度も力いっぱいついてくれて、楽しんでもらった様子。みんなで一生懸命ついたもちは、しょうゆと大根おろしのからみもちと納豆をからめたり(ちょっと大人の味だったかな?)、定番のあんころもちにして試食！

子ども達は気に入ってくれるかな...と少し心配でしたが、「おいしい！」という声にひと安心しました。



2月の予定

1	水	夜の博物館
2	木	
3	金	
4	土	
5	日	
6	月	
7	火	
8	水	
9	木	
10	金	
11	土	建国記念の日
12	日	
13	月	
14	火	収蔵展CLOSE
15	水	
16	木	
17	金	
18	土	
19	日	
20	月	
21	火	
22	水	
23	木	
24	金	
25	土	ジュニア探検クラブ
26	日	ふぁみりーでいみゅーじあむ
27	月	
28	火	
29	水	
30	木	
31	金	

2月の休館日はありません。

体験してみませんか？

現在開催中の収蔵展では、ひき臼・薬研・鯉節削り・カンテラ・缶ぼっくり作りの体験コーナーがあり、子ども達に人気です。2月14日まで開催中！(A)



編集後記 ~tawagoto~

新年、明けましておめでとうございます。今年も当館の運営にご支援賜りますようお願い申し上げます。

ところで、今年の1月は特に寒く、雪が多い気がする。ゆっくりと、そして、しんしんと舞い降りてくる雪の様はとても趣があり、和やかな気持ちにさせてくれる。これぞ日本の冬といった所だろうが、その後の雪かきを思うと、そんな悠長な事を言てられないのが実情か・・・。(やまだひさし)

Richard

〜ピチャリ〜

第49号

平成24年1月20日 発行

七飯町歴史館

〒041-1193 亀田郡七飯町本町6丁目1-3

電話 0138-66-2181 FAX 0138-66-2182

E-mail: rekishikan@town.nanae.hokkaido.jp